

# 決算・一般会計 補正予算等審査 特別委員会

委員長 渡 辺 博  
委員 長 佐々木 真由美  
副委員長 佐々木 真由美

本委員会は、決算に加え、道路照明灯問題に関連する補正予算等の議案を審査するため、従来の決算等審査特別委員会に代えて特別に設置された委員会です。全議員55人で構成され、委員は所属党派の議員数に応じた持ち時間内で、分科会および全体会において一問一答形式で質疑を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

## 自由民主党

**猪又 隆広 委員**  
○イクス力を活用した子ども見守りサービスの検討を  
○利用者拡大のため、イクス力に電子決済機能の追加を  
○市営バスの事故削減のため、運転手向け研修の拡充を  
○ガス局の経営基盤安定に向け、エネファームの普及拡大を  
○都市ガスの災害対策強化を

**田村 勝 委員**  
○学校教育のICT化に向けた今後の予定を伺う。  
**答** ICT支援員の適切な配置や大型提示装置の中学校への整備などを検討していく。  
○情報モラル教育の推進  
○不登校の児童生徒が自宅でのICT機器により学習を行った場合の出席扱いについて

**内藤 良介 委員**  
○地域交通の現状と情報発信の取り組みについて伺う。  
**答** 4地区に対して支援を行っており、交通フェスタ等でも取り組みを紹介している。  
**問** 人口減少に伴うデマンド交通の必要性について伺う。  
**答** デマンド交通も含め、地域特性に応じた運行が重要。

**千葉 修平 委員**  
**問** 子ども食堂への助成期間は令和4年度で終了するが、その後の経営支援の在り方について伺う。  
**答** 運営団体の声を聞きながら、必要な支援を検討する。

**若林 区役所・若林区中央市民センター 駐車場の有料化の検討状況と今後の方針は**  
**答** 年度内に近隣駐車場の需要を調査し、整備完了後速やかに有料化の実現を図りたい。  
**問** まちづくり活動助成をより利用しやすい制度にすべき  
**答** 災害時の交通指導隊の役割

**菅原 正和 委員**  
**問** 若林区役所・若林区中央市民センター 駐車場の有料化の検討状況と今後の方針は  
**答** 年度内に近隣駐車場の需要を調査し、整備完了後速やかに有料化の実現を図りたい。  
**問** まちづくり活動助成をより利用しやすい制度にすべき  
**答** 災害時の交通指導隊の役割

**松本 由男 委員**  
**問** 各区役所を含めて予備の災害対策本部を設置すべき  
**答** 大規模災害が多発する状況を踏まえ、本部の代替施設選定は重要。検討を進める。  
**問** 使いやすい防災タウンページ

**菊地 崇良 委員**  
○事務分掌を具体化した業務マニュアル整備と点検の仕組み  
○コンプライアンスの推進

**佐々木 心 委員**  
○子どもたちの遊び場を新設整備すべき。所見を伺う。  
**答** 庁内でしっかりと議論を重ね、実現方策を探りたい。  
○幼児健康診査における、歯科健診結果通知の改善と未受診児の保護者への対応強化  
○敬老乗車証制度の利用実態をアンケート調査すべき

**加藤 和彦 委員**  
○道路空間の活用に取り組み地域の協議と連携し、さらなる効果を生む仕組みづくりを  
○民間主導によるエリアマネジメントに対し、市が積極的に支援すべき

**橋本 啓一 委員**  
○近未来の技術の実証では、庁内の分野横断的な連携や産学のノウハウの活用が必要

**高橋 範夫 委員**  
○高齢化の進行と異常気象による熱中症等の増に伴う急激な救急需要増大への対応策  
○救急需要対策に有効な救急電話相談#7119の改善と認知向上の取り組み  
○消防環境の変化に対応するため「総合的消防力整備」を新たな実施計画に明記すべき

**高橋 範夫 委員**  
○台風第19号被害への対応  
○道路照明灯問題について  
○監査と内部統制制度  
○市民の健康特性を踏まえた健康寿命延伸の施策推進を  
○自転車条例の普及徹底を



防災重点ため池は市内に97カ所(写真は泉区の新釜の沢ため池)

**野田 謙 委員**  
**問** 周辺環境や高齢者等のニーズに応じた施設を配置し、市民に利用される公園にすべき  
**答** 健康遊具等の配置を検討するなど、地域により特色ある公園づくりを進めていく。  
**問** 市民が公園の維持管理に参画しやすい仕組みづくり  
**答** 歩道根上りの早急な改善を  
○街路樹の整備、管理の方向性を  
**西澤 啓文 委員**  
**問** 空き家の活用を積極

## 公明党

**分科会の主な質疑項目**  
〈危機管理室・総務局・まちづくり政策局・財政局〉  
○災害備蓄品の見直しについて  
○健康福祉局・子供未来局  
○災害時に障がい者等がスムーズに避難できるような、要援護者や町内会を対象とした研修会等を開催すべき  
○障がい者の就労支援のため企業側の理解促進策の検討を  
○災害援護資金の償還について  
○いじめ対策推進室について  
〈市民局〉  
○広聴事業におけるSNSの活用、多言語・障がい対応等  
○市政出前講座の取り組み状況  
○自転車等の交通安全対策  
○交通規制変更時の周知手法  
〈消防局〉  
○災害情報伝達にSNS活用を  
○消防法令違反公表制度の周知  
○教育局  
**問** 授業が難しくなる中学校の通級指導教室を強化すべき。

## 民主フォーラム仙台

**村上 かずひこ 委員**  
○旭ヶ丘駅前の複合公共施設は、土壌汚染対策に多額の費用を要するため駅西側への変更が示されているが、催し物等に利用する場所であり地元は反対している。安価な対策を検討し、地元の意向に沿って当初案の駅南側に建設すべき。  
**佐藤 わか子 委員**  
**問** 建設局は責任を持って、私道整備補助金の予算確保を。  
**答** 各区の予算確保のため、財政局と連携しながら取り組む。  
○首都圏の大学等も対象とした積極的なコンベンション誘致  
○市民へ協力を呼び掛け本市一丸でおもてなし気運の醸成を

**渡辺 敬信 委員**  
○災害対応ドローンの平常時の活用と、操縦者の増に際して台数も増やす配備計画を  
○教職員との人間関係に起因する不登校生徒等の問題解決には学級担任の見直しが必要  
保護者や教職員にアンケート調査を行い、実態の把握を。  
**沼沢 しんや 委員**  
**問** 紙おむつの保育所での処理実施に向け具体的な検討を。  
**答** 他都市からの情報収集や民間施設との意見交換を行う。  
○母子家庭支援のため養育費の確保に向けた取り組みを  
○警戒レベルが付された新たな防災・避難情報の周知啓発を

**細野 たかし 委員**  
○高齢化が進む本市における特定空家の解消策と空き家対策の今後の取り組み方針  
○住宅用火災警報器の条例適合率向上と災害弱者への支援  
○市民センターにおける高齢者と福祉機関との橋渡し

**鈴木 すみえ 委員**  
○重度重複障害者向け施設の収益改善のため、市独自の補助金や特別加算の創設を  
○市民検診の受診率向上に向け

**若手起業家の資金調達のため**  
○子どもから大人まで予防接種漏れを防ぐ取り組みを  
**郷古 正太郎 委員**  
○若手起業家の資金調達のため  
○投資家やベンチャーキャピタルへのマッチング事業強化  
○タイへの輸出支援の強化  
○気象条件の変化に対応した路面凍結防止剤の研究  
○高齢者向け健康遊具の整備

**真宗 けんじ 委員**  
○生ごみ堆肥化モデル事業の効果測定し他地域へ展開を  
○剪定枝資源化事業の展望



若手起業家と投資家らをマッチングするイベントの様子

## 社民党

**小山 勇朗 委員**  
**問** 選挙の投票事務においてけるミス防止対策について伺う。  
**答** マニュアルの充実等さまざまな事務改善や、実務に通じた人材育成に取り組んでいる。  
○私立教育等の質の向上  
○幼児保育の無償化と児童の受け入れ体制確保について  
**いのまた 由美 委員**  
**問** 東西線沿線の魅力づくりに、各駅の地域特性に応じ

## 蒼雲の会

**加藤 けんいち 委員**  
○学校内のブロック塀の安全対策を確実に実施すべき  
○学校内のコンクリート柱の倒壊防止に向けた調査  
○教員の労働時間管理の徹底  
○部活動指導員配置への評価  
**小野寺 健 委員**  
○高齢化が進む中、旅行など外出の際に身体的な不安を抱える観光弱者の方々は確実に増加している。本市も早急に対応策を実行すべき。  
○市内企業の海外展開支援。  
**安孫子 雅浩 委員**  
**問** 道路照明灯問題の基本的責任は本市にあるとの認識が、手続上の統一的仕組



手すりの設置など観光弱者への配慮を(写真提供 ホテルメトロポリタン仙台)

**令和元年第4回定例会は、12月5日(木)開会予定です。**

## 市民と未来のために

**伊藤 ゆうた 委員**  
**問** 道路照明灯に係る不適切な工事のような問題を二度と起こさないよう、全庁的に事務作業の総チェックを行うべきと考える。今後どのように対応するのか伺う。  
**答** 公金の支出を伴う事務について、契約から支出に至る一連の流れの中で、どういったものに過払い・未払いが発生する恐れがあるのか等、まずは精査していきたい。

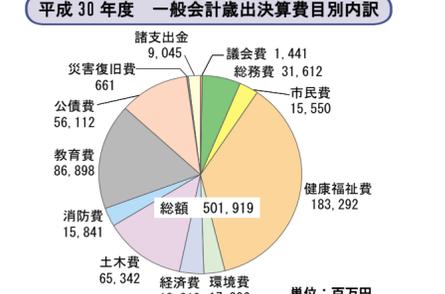


移転に伴い敷地が売却された鶴ヶ谷保育所



**平成30年度 特別会計決算の収支状況**

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	7,202	5,437	1,765
国民健康保険事業	93,225	93,009	216
中央卸売市場事業	3,068	3,068	0
公共用地先行取得事業	1,753	1,753	0
駐車場事業	248	248	0
債管	110,563	110,563	0
母子父子家庭福祉資金貸付事業	181	151	30
新築事業	983	916	67
介護保険事業	74,541	72,413	2,128
後期高齢者医療事業	11,354	11,277	77
合計	303,118	298,835	4,283



**平成30年度 一般会計決算の収支状況**

項目	金額
予算現額	555,578
歳入決算額	A 513,431
歳出決算額	B 501,919
歳入歳出差引額	C=A-B 11,512
翌年度へ繰り越すべき財源	D 8,267
実質収支額	E=C-D 3,245



平成30年度に改修された地下鉄南仙台駅の新車いす対応券売機